

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月12日更新

事務事業名		市街化調整区域活性化連絡協議会参画事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健幸		所属部	都市建設部	課長名	坂本 強
	施策	20	計画的な土地利用の推進		所属課	都市計画課	担当者名	村上 淳二
	業務分野	63	計画的な市街地の形成		所属班	都市計画班	(内線)	5262
予算科目		会計一般	款 8	項 4	目 1	事業連番 10165	法令根拠	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	協議会参加、負担金納入 平成9年に熊本市計画区域の中で、行政区域のほとんどが市街化調整区域である町に対して、益城町から協議会の設立が呼びかけられ、賛同した5町(益城、菊陽、嘉島、合志、西合志)によって本協議会が設立され活動が始まった。平成9年度に協議会が設立された後、大規模既存集落の指定、沿道サービス許容路線の追加、市街化調整区域の地区計画、都市計画法第34条第1号に基づく条例制定(集落内開発制度)、市街化調整区域地区計画の県同意基準の見直しなどにつながっている。当初の構成自治体は5町であったが、合併により1市3町(合志市、益城町、菊陽町、嘉島町)となっている。
【業務の流れ】	会議出席、総会参加、研修会参加、要望活動等
【主な予算費目】	旅費、負担金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

1市3町で組織する協議会で、担当者会議により、熊本市計画区域における市街化調整区域の活性化に向けた他自治体の取り組みなどの情報交換を行った。総会の他、担当者会議を2回行った。
 【基準に達しなかった理由】研修会が実施されなかったことにより不用額が生じたため。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

令和7年度より都市計画協会参画事業(10171)へ統合

③予算の主な増減の理由

都市計画協会参画事業(10171)へ統合することに伴う事業費の減

成果指標

ア 要望回数
→ イ
ウ

(単位)

データ取得方法

回

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	目標(当初予算)	予定	見込	見込
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)				
ア	回	3	2	1	0				
イ									
ウ									
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
一般財源	千円	30	30	74	30				
(A) 事業費計	千円	30	30	74	30				

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

市街化調整区域における制度上の課題共有と要望活動を継続して行なうとともに、市町担当者による情報交換を通じて日頃の円滑な業務実施に寄与

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)